

事務事業名	トンネル点検事業【H24繰越】	所属部	建設部	所属課	業務管理課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	維持管理G	課長名	菅田 雅人
	施策名	(07)道路網の整備	担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1061
	目的:対象	生活道路(市道・一般県道)の利用者	意図	市内を安全で迅速に移動できるようにする。	(内線)	3732
	基本事業名	(019)道路の補修・維持管理	予算科目	会計 014002 款 100508 大事業 大事業名 中事業 中事業名	道路橋梁総務管理事業 トンネル点検事業	
目的:対象	生活道路	意図	適正に維持管理する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	市道トンネルの点検業務委託 ・望頂トンネル(吉田町) ・芦原トンネル(吉田町)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・道路トンネル点検業務委託(2箇所) ・トンネル照明点検業務委託(2箇所) ・望頂トンネル調査解析業務委託	26年度計画(26年度に計画する主な活動) ・道路法等の改正により今後は、5年に1回の点検が必要			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	トンネル本体点検数(委託)	箇所		0	2	0
イ	トンネル附属物点検数(委託)	箇所		0	2	0
ウ	トンネル調査解析数(委託)	箇所		0	1	0
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
	①生活道路の利用者 ②生活道路	ア	人口【国勢調査(推計)】	人		40,548	40,055	39,949
		イ	市道延長	km		1,151	1,157	1,159
		ウ	市道のトンネル数	箇所		2	2	2
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)		
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②適正に維持管理する	ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%		56.9	55.4	60.0	
	イ	生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%		72.5	72.9	73.0	
	ウ	5年以内に点検を行ったトンネル数	箇所		0	2	2	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
・道路トンネル点検業務委託 3,192千円 ・トンネル照明点検業務委託 2,457千円 ・望頂トンネル調査解析業務委託 4,544千円	財源内訳	国庫支出金	千円		0	3,671	0
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円			0	6,522	0
	事業費計(A)	千円			10,193		
人件費	正規職員従事人数	人		1	2		
	延べ業務時間	時間		10	60		
	人件費計(B)	千円		39	234		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		39	10,427		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成24年12月に発生した笹子トンネル天井板落下事故を受けて、市道トンネルについて緊急点検を実施した。 ・道路法等の改正により今後は、5年に1回の点検が必要となる。	・この点検結果に基づき、計画的な修繕又は長寿命化を行うことができる。 ・落下の危険性の高い照明については、委託の中で撤去した。	道路管理者として、市道トンネルについて緊急点検が必要と判断した。

事務事業名	トンネル点検事業【H24繰越】	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があると理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 ・点検結果に基づき優先度評価を行い、修繕計画を策定する。 ・予防的な修繕等により、将来的な経費削減を行うものであり成果は最大である。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 ・市道トンネルの安全性が保たれなくなる。 ・道路法等の一部改正により、今後は5年に1回のトンネル点検が必要である。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 ・市道トンネル独自の事業であり類似事業がない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 ・点検結果に基づき詳細調査や設計を行い、修繕計画を策定する。予防的な修繕等により、将来的な経費削減を行うものであり、削減余地はない。 ・今後は、5年に1回の点検が必要であり、点検事業費は増加する。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 ・既に委託業務を行っており、これ以上の人件費削減余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 ・利用者が市内を安全で迅速に移動できるようにするものであり、公平・公正である。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		・点検結果に基づき詳細調査や設計を行い、修繕計画を策定する。予防的な修繕等により、将来的な経費削減を行うものであり、成果は最大である。但し、点検費用については、5年に1回となるため増加する。 ・市道トンネルの安全性を保つため、早期の点検に着手した。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
・道路法等の一部改正により、今後は5年に1回のトンネル点検が必要である。なお、点検基準及び要領については、平成26年7月頃に示されることとなっている。 ・平成25年度のトンネル照明点検結果に基づき、平成26年度に照明器具20基を修繕する。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		